

福井県フードバンク活動交流会報告

～福井県フードバンク連絡会と子ども食堂との交流会～

【日 時】 2023年12月18日(月)9時30分～12時

【会 場】 福井県自治会館2F 多目的ホール

【参 加】 34人 (連絡会事業者6団体11人、子ども食堂16団体20人、福井県2人、講師1人)

【主 催】 福井県フードバンク連絡会・子ども食堂ネットワークふくい

【開催目的】

フードバンク食品提供事業者と子ども食堂との顔の見える関係づくりを進め、フードバンク活動を通じてさらに連携した取り組みを広げ、食品ロス削減と地域福祉へのお役立ちを通じてSDGs社会の実現をめざします。

【内 容】

<開会あいさつ>

連絡会代表 松宮幹雄氏(福井県民生協理事長)



設立後の活動の紹介を行い、互いが理解しあい、食品ロス削減と地域福祉に役立つ活動を継続して取り組みたいと挨拶しました。

<学習講演> 石川県内のフードバンク・フードドライブ活動について

講師: 青海万里子氏(NPO 法人いしかわフードバンク・ネット理事)



石川県におけるフードバンクやフードドライブの活動、子ども食堂の取り組み状況などネットワークにいたる活動の紹介をいただきました。今後の福井県の取り組みの参考になりました。

<子ども食堂活動事例報告>

・子ども食堂スマイル(坂井市三国)

代表 林喜代美さん(下左写真 右側)



・子ども食堂おむすびころりん(小浜市)

代表 宇野千春さん(下左写真 左側)



<グループ交流・発表>

6グループに分かれて、自己紹介を行い、子ども食堂の活動やフードバンク活動を進めるうえでの課題、、連絡会への期待や要望について交流し、最後に話し合われたことをグループごとに発表し、共有しました。



《フードバンク活動を進めるうえでの課題》

- ・食品を一時保管する倉庫（欲しい商品が欲しい時に取りに行ける）
- ・生鮮品や冷凍品の提供の仕組みづくり
- ・フードドライブ活動の連携
- ・善意による寄付の責任の問題
- ・点数でなく重量としての把握
- ・自治体や社協、地域との連携強化

《子ども食堂を運営するうえでの課題》

- ・運営スタッフの確保、運営資金の確保
- ・活動する場所や開催場所の確保
- ・人と人をつなげるコーディネーターが必要（社協や民生委員、ライオンズクラブなどへのボランティアの呼びかけ）
- ・メニューやレシピの共有
- ・子ども食堂同士のネットワーク（余った食品を分け合う、情報の共有など）

《連絡会への期待や要望》

- ・文具や日用品などがあると助かる
- ・商品の品質（例えば米）や賞味期限の確保
- ・提供先の工場や会社の見学会など企画
- ・主菜となる肉や魚の提供（缶詰や冷凍品など）
- ・交流会の定期的な開催（年1～2回）

<閉会あいさつ>

子ども食堂ネットワークふくい 共同代表 南康人氏



提供事業者への日頃の感謝と本日の出席者へのお礼を述べられました

<アンケート結果>

「報告や交流はいかがでしたか」に対して、ほとんどの参加者が「参考になった・良かった」と回答いただきました。

- ・石川県の先進的な事例を聞いて参考になった。
- ・他団体の色んな意見が聞いて良かった。
- ・交流できて良かった、今後もこのような機会があると良い。
- ・主菜となる肉や魚が缶詰や冷凍品であるとよい。などの声が出されました。